

新人看護職員支援体制（2022年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新人の成長段階		職場へ適応する時期/看護師として自覚と責任を持つ時期/組織人として規律を身につける時期				実践力を強化し自信をつける時期				メンバーとしての役割を習得する時期			
新人の特性		看護学生からナースへの移行期 4月前半：居場所がないと思う時期 4月後半：わからないことがわからない	他者と比べて自信を無くし始める時期	自分にできない事を多く気づいて悩む時期 体力的にも疲れが出てくる時期	看護師として責任ある行動がとれる基盤を作る時期 独り立ちで心に余裕が持てない時期								
基本的な関わり方	全体	ティーチング			ティーチング＆コーチング（自立度に応じて）								
	プリセプター	一歩先を行く先輩として関わる 声をかけ、困ったことがないか確認する	できる事とできない事を新人と共に整理する→アソシエイトに報告する その日の学びの振り返りができているか確認する 睡眠・食事がとれているか、規則正しい生活が送れているか情報を得ると共に精神面は安定しているか観察し、必要時サポートする 休日勤務に向けての思いを聞き、必要時サポートする 準・深夜勤務に向けての思いを聞き、必要時サポートする 先輩看護師との人間関係に関心に向ける			自律度に応じて対応、支援する							
	アソシエイト	新人とプリセプターの関係の観察 新人は歓迎ムードで迎えることを周知する	指導は必ずナーシングスキルを用いて行う できた事を認め、できていない事は次に活かせるようフィードバックする 休日・準・深夜勤務の見学についてのオリエンテーション 休日・準・深夜勤見学の不安な業務を確認する 休日日勤の実施状況を確認する			看護について細やかな指導をプラスする スタッフと協力しながら自立度に合わせて支援する 患者の疾患・治療・看護の関連性を学習させる 準・深夜勤のフォローをする							
	スタッフ全員の対応（グループメンバー含む）	過度の緊張を与えない 挨拶はこちらからする 全員で新人を育てるという意識を持つ 分担して部署のオリエンテーションをする 新人が行動できるように具体的に指示する「～しましょう」「～してください」	個人の成長に合わせて指導をする 15時頃声をかけ、時間内に終了できるよう業務の調整をする タイムスケジュールを立てさせて確認する 指導は必ずナーシングスキルを用いて行う 初めてすることはまず指導者が実施する。新人の実施を見守り問題なければ次から一人で行う できたことを褒め、できていない事は次に活かせるようフィードバックする 指導する中で困ったこと、よかったことをアソシエイトや教育担当者へ報告する 80%指示する（～してください）20%助言する			自立度に合わせて支援する 発言しやすい環境を提供する 新人の発言を否定しない （～が出来ていない）→（ここを改善しよう）				 新人はスタッフみんなです 育てよう！！			
	師長補佐（教育担当）	時間内に帰宅させる配慮をする 年間の教育計画の説明、役割の確認を行う（アソシエイト・プリセプター共に） 新人・アソシエイトへ毎日声をかけてして相談窓口となる	病棟の環境に順応できているか確認する プリセプター・アソシエイトを支援する 休日・準・深夜勤見学のフォローをする	夜勤導入前の評価をする 教育プログラムに問題がないか進行状況を確認する	プリセプター・アソシエイトと新人の関係を把握し支援する 準夜・深夜勤を通して見えた課題について個人差を考慮する（師長と相談）				技術チェックリストの評価状況の確認 指導状況の把握				
	師長	週末ごとに心身の状況の把握や相談にのる 時間内に帰宅させる配慮をする 目標管理にそって面接する	病棟の環境に順応できているか確認する プリセプター・アソシエイトを支援する	夜勤導入前の評価をする 教育プログラムに問題がないか進行状況を確認する	目標管理にそって面接する 各勤務帯で新人を支援できる体制に調整する 準・深夜勤の個人差について部長・副部長に報告する				目標管理にそって面接する				
	研修	プリセプター研修/アソシエイト研修			コーチング（プリセプター）研修※4月延期以降調整予定				10月プリセプター研修/アソシエイト研修				3月プリセプター研修/アソシエイト研修
新人目標	目標	職場に慣れる 挨拶ができる コミュニケーションがとれる 先輩看護師の指導のもとに受け持ち患者のバイタルサイン測定、一般状態、日常生活の援助ができる 指導看護師にその都度、報告・連絡・相談ができる 指導を受けながら行動計画を立てることができる	助言のもと安全・安楽に看護を実施し記録できる 休日勤務で複数の患者（4～10名）を指導のもとに担当できる 準・深夜勤見学を行い、夜勤に向けて自己の課題を明確にできる	エビデンスを確認し看護実践ができる 指導のもと、急変時にグループメンバーとしての役割が理解できる	指導のもと準・深夜勤で部屋持ち（重症患者を除く）ができる 予定入院患者・手術患者の受け持ちができる グループメンバーの役割を果たすことができる 基準・手順を確認し、わからない事に関して自分で調べることができる	先輩看護師の支援を受けながら準・深夜勤のメンバーの一員として業務ができる 患者の全体像を把握しケアができる 患者の状態をアセスメントでき実践につなげることができる 指導を受けながら入院～退院までの過程を理解し、実施できる 未経験の技術の習得を自ら積極的にすることができる	緊急入院患者の受け持ちができる 急変時指示に沿って行動ができる 受け持ち患者の入院時の情報がとれる（患者プロフィールに沿って統合アセスメントまで行う） エビデンスを理解し看護実践ができる 多様な場面に対応できる 指導を受け退院に向けての指導が出来る クリニカルラダー1の申請ができる						
		 指導の際は必ずナーシングスキルを用いて行おう！！			職場での必要な実践能力を身につける 準・深夜勤に必要な実践能力を身につける								
経験を通して学びを振り返り、自己で学習できる													
業務調整	日勤業務	日勤・週間業務がわかる 指導を受けながら行動計画を立て、時間内に業務を終了する 看護記録の書式がわかる	PNSにおけるチームの一員としてベアと共にその日の受持ち看護師として患者を受持つ		指導のもとその日の受持ち看護師としてベアと共に担当患者の看護展開を行う 予定入院患者を中心となって受け入れる 予定手術患者を中心となって受け持つ				指導のもと担当看護師として受け持ち患者（入院から退院まで）の看護展開する		緊急入院患者を担当する		
	休日業務	休日の業務内容がわかる	休日日勤の勤務のチームの一員としての役割を理解し、指導のもとベアと共にその日の担当看護師として受け持つ		支援を受けながら、ベアと共に重症患者の受け持つ								
	準・深夜勤務		準・深夜勤見学を経験する	見習い準・深夜勤を経験する	準・深夜勤の勤務メンバーとしての役割を理解し、指導のもとグループの軽症患者を受け持つ				支援を受けながら、 グループ の重症患者を受け持つ				
看護技術	看護技術チェック全共通項目	患者確認、スタンダードプリコジョン、バイタルサイン測定、配膳、下膳、採血、環境調整、おむつ交換、ベッドメイキング、食事介助、排泄介助、注射（側管）、血糖測定、検体取り扱い、車椅子搬送、清拭、ナースコール対応、針刺し事故防止、口腔ケア、患者の移動・輸送	緊急時の対応（ハリーコール・Vコール・緊急コールの理解）意識レベル観察、酸素吸入、吸引、ネブライザー、口腔ケア、輸液ポンプ・シリンジポンプのアラーム対処法、創傷・褥瘡管理技術、心電図モニター装着・監視、衣生活、感染防止技術、体位変換、与薬（経口・外用・直腸）、皮下注射、筋肉注射、静脈注射、呼吸・循環に関するケア技術、安全確保の技術、インスリンの種類・用法・副作用等管理、救急カート内の物品の使用方法及び薬品の作用・副作用、ネブライザー、シャワー浴、特浴、抑制、離床センサーの使用法、包交車の物品把握、安全点検、導尿、尿道留置カテーテル、フットポンプ、エアマットの使用法と管理		12誘導心電図、胃チューブ挿入、経管栄養、輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い、ドレーン管理、CVカテーテル管理、痰培養、血液培養				 気管切開・気管内挿管、輸血、人工呼吸器				
	その他	電カル使用、PHS使用、ダムウェーター・エアシューター使用、個人情報の取り扱い、感染性廃棄物の廃棄、パーチカル物品の借用	ME物品貸出、救急カート点検、AED・DC設置場所の理解、SPD・用度物品の請求・受領、レスピレーター借用										
部署別（各部署特有の）項目		各部署特有の技術に関しては部署作成の年間計画及びチェックリスト参照											
研修（OJT）			準夜・深夜勤見学（準・深各1日づつ）	準夜・深夜勤見習い（深夜2回・準夜2回を2クール）									
			5月：静脈血採血・静脈内注射/BLS 6月：看護必要度	5～6月：急変時対応	9～11月：褥瘡予防（実践） 11～12月：多重課題②（シミュレーション）				2月：多重課題③（部署必要時）				
研修（Off・JT）	新人オリエンテーション コミュニケーションエラー5S	ME機器（輸液ポンプ・シリンジポンプ・心電図モニター・除細動） ピアサポート①	多重課題①（机上シミュレーション）/褥瘡予防①（基礎）	7月：情報収集（患者プロフィール）/感染経路予防策/フィジカルアセスメント① 9月：接遇/療養環境におけるKYT	10月：ピアサポート②/看護倫理				1月：フィジカルアセスメント② 3月：ピアサポート③				
評価方法	個人目標シート・目標面接								中間面接				育成面接 クリニカルラダー判定
	アソシエイト・プリセプター会（毎月）／チェックリスト												